

平成28年9月の大阪森林便り



林業人材育成で連携 奈良・和歌山・三重県 共同で研修

奈良県と和歌山県、三重県の知事は、「紀伊半島知事会議」を開き、林業の人材育成で連携することで一致しました。

人材交流などを活発化し、林業を担う若者を3県で協力して育成していくといます。

教育マニュアルの共有化や共同研修の実施、関連施設の相互利用などを推し進めていきます。林業を学ぶ学生同士の交流を促進。卒業後の就職先の情報を共有化することなどを検討していきます。

(2016年8月9日 日本経済新聞記事から抜粋)



初の山の日 物が売れない8月…「夏枯れ」潤すか

登山靴やリュック 売上1割増

(2016年8月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



山を学び、恐れ敬う「山の日」に

8月11日は、国民の祝日に定められてから初の「山の日」です。

山岳事故が右肩上がりが増えていることへの懸念があります。

2015年の遭難は約2500件。日本の登山人口は700万～800万人。多くは「団塊の世代」以上の高齢者で60代後半～70代。

昔は山岳団体に所属するなどして、登山を覚える人が多くいました。今は個人登山が主流。「自己流」で登る人が増えています。

若い人の事故も。ネットで知り合って現地で合流し、登山をするグループも増えています。登山計画は本来、仲間の経験や体力をよく知らないとは立てられないはずです。

自治体は、登山届を義務化したり、山の難易度を公表したりしています。

計画作りから足の一步一步の運びまで、知識や技術に裏付けられた「確実登山」を身につけましょう。山を学び、山を恐れ敬う気持ちを持ちながら登ることも忘れないで。

(2016年8月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



今月の木の話 調湿効果

外は雨でも家の中はジメジメしてない。どうして？

雨が続く梅雨時は家の中まで湿りがち。反対に冬になると乾燥して空気がカラカラになってしまいます。こんなときでも木造の家の中にいると、不思議に快適に感じたことはありませんか？実は、木が上手に湿度調節をしてくれているのです。

木材には、通常その重量の12～15%の水分が含まれています。冬の乾燥した時期にはこの水分を放出し、周囲の空気に湿り気を与えているのです。

反対に雨で湿度が高くなると、空気中の水分を吸収してジメジメを取り除いてくれます。木材は最大30%くらいまで水分を吸収することができるのです。

木材は吸湿性があるため結露が生じにくく、万一生じた場合も水分を吸収することができます。木材は湿りすぎたり、乾燥しすぎたりしない、快適な居住環境を作っているのです。

(社団法人福岡県木材組合連合会「木のある生活」より抜粋)

